

塩竈市浦戸 寒風沢島散策 実施報告

- 日 時 2024年11月10日(日) 9時~15時 マリンゲート塩釜集合・解散
- 場 所 寒風沢島(塩竈市 浦戸諸島)
- 参加者 12名(MELON水部会5名、MELON事務局1名、
宮城県地球温暖化防止推進員1名、一般5名)
- 企画・調整 MELON水部会
- 案内役 講師:内海信吉氏、地域おこし協力隊:高橋礼奈氏、田んぼの案内:加藤信助氏
- 目的

MELON水部会では、宮城県内の健全な水環境保全を進めるため、広瀬川の水質調査や県内の水にまつわる神様(水の神様)調査を行っている。

水部会部員の提案により、2022年度から塩竈市浦戸諸島での散策を通して水環境への理解を深めることとしており、今回は、3島目として寒風沢島を訪れた。

●スケジュール

9:00~9:20 **受付** (マリンゲート塩釜1F)

<行きの船> 9:30 塩竈発 → 10:16 寒風沢着

挨拶・自己紹介 → 寒風沢栈橋延命地藏・化粧地藏 → 六地藏 → 旧小学校前(寒風沢ステイステーション)

→ 田んぼ → 前浜 → 遊歩道 → 日和山 → 寒風沢島栈橋 **解散**

<帰りの船> 14:08 寒風沢発 → 14:54 塩竈着(船)



田んぼの水路には、野生のメダカ(クロメダカ)が泳いでいる。



稲作が行われていない土地はヨシハラに覆われている。



遠浅で波静かな砂浜沖にアマモ場が保全されている



日和山展望台の十二支方角石(塩竈市指定有形文化財)



巳待供養塔(左)と巳待塔(右)



寒風沢島栈橋での集合写真

● 散策の様子



地層を見ると土の層が薄いことがわかる。



六地藏：1枚の岩に二体ずつ彫られているのは珍しいとのこと。



田んぼ：純米吟醸酒「浦霞 寒風沢」の原料となるササニシキ。河川が無いので天水のみの稲作。



昼食：寒風沢島で収穫されたササニシキのおにぎり。



海が近く土の塩分濃度が高いため、ヨシハラの背丈が低めでそろっている。水分が多いためセイタカアワダチソウは少ない。



寒風沢神明社：「流れ造り」としては珍しい様式とのこと。



砲台場跡と日和山展望台との分岐点。
砲台場跡の方に龍神様が祭られている。



寒風沢島のコミュニティ農園の松島白菜。復興支援への感謝の気持ちを世界に伝える「東北宇宙ミッション2021」にて宇宙に打ち上げられ、宇宙から帰還した種から育てられている。



「造艦の碑」(左端)



左岸が野々島、右岸が寒風沢島